

News Letter

vol.41
2020. 9月号

毎月発行

今月のよっしー

「時代は確実に動いている」

本学6年生の卒業試験が大幅に変わりました。筆記試験を廃止、実技試験（一人16分間の診察を8人分、6人以上クリアで合格：卒業）が無事開催。全国の大学がCOVID-19を理由に実技試験中止を決断する中、本学は関係者のご協力により実施され、結果的に高い評価を受けました。残念ながら3名が不合格で再試験に挑戦します。地域包括ケア実習を含めたクリクラⅡの包括評価結果と今回の試験結果はかなり相関しておりました。「評価が学習をドライブする」と医学教育では言われます。「関所」としての卒業試験が変わった以上、より実践的な経験を積ませることが必要になります。そうした意味でも各地の先生方や関係者の皆様のご協力が欠かせません。また指導者講習会や指導のコツなどもどんどん発信していきます。よろしくお願いいたします。



教授 吉村 学

連載企画

臨床実習病院・診療所紹介 「江夏整形外科クリニック」

江夏整形外科クリニック 院長 江夏 剛 先生

みなさん、こんにちは。当院は北諸県郡三股町で平成20年より診療を行っている整形外科の診療所です。三股町は都城市に隣接する人口約2万5千人の町です。宮崎県内において市町村合併統合に拠らず独立した町制を敷く北諸県郡で唯一の町です。市郡医師会副会長の長倉医院の長倉先生を中心に、三股町で学生の実習を受け入れようとのことで2年前より地域医療について実習して



いただくことになりました。在宅医療を中心とする診療を郡山先生、内科一般の診療を長倉先生、そして整



形外科の外来診療を私と約1週間、三股町の三施設で実習していただいています。短い期間ですが、地域に根差した医療の在り方を学んでいただき、今後の医師生活の一助としていただくと幸いです。



つのだより

～都農町の寄附講座「地域包括ケア・総合診療医学講座（通称：都農町まるごとケア講座）」からの定期的なお知らせ～

ビジネス系ウェブメディアJBpress (Japan Business Press) に9月3日付で都農寄附講座関連の記事「人口減、高齢化を克服する地域医療の切り札～総合診療医が過疎を救う、宮崎大と都農町共同プロジェクト～」が掲載されました。

都農町の寄附講座が設置されて早5ヶ月。その間に感じたこと、総合診療医の役割、そもそもなぜ総合診療医になろうと思ったのかなどインタビュー形式で桐ヶ谷先生と梶田先生が登場しています。

記事全文はこちら（QRコードからも読めます）。

<https://jbpress.ismedia.jp/articles/-/61932>

ぜひご覧ください。



吉村教授の研究論文が医学教育の国際誌に掲載されました。

Manabu Yoshimura, Takuya Saiki, Rintaro Imafuku, Kazuhiko Fujisaki and Yasuyuki Suzuki (2020).

Experiential learning of overnight home care by medical trainees for professional development: an exploratory study. Int J Med Educ. 2020; 11:146-154.

<https://www.ijme.net/archive/11/experiential-learning-of-overnight-home-care/>

吉村教授が長年取り組んできた研究が医学教育の国際誌「International Journal of Medical Education」に掲載されました。内容としては、医学生や研修医が在宅療養する終末期の患者宅に単独で泊まる実習「(むちゃぶり)お泊り実習」の意義をProfessional Identity Formationと絡めて提示しています。本実習により、医学生・研修医が患者や介護者の生活実態をより良く理解し、在宅ケアを提供する方法を学ぶ豊かな機会となることを明らかにし、なおかつ、患者中心の医療観形成・医師としてのアイデンティティ形成に繋がる可能性を示しています。

本研究結果は、地域基盤型医学教育と総合診療分野における学習方略開発及び幅広い医療者教育分野の発展に役立つと考えられます。在宅医療を受けておられる患者宅での宿泊実習スタイルはおそらく世界で初めてだと思いますが、今後も更なる研究を深めて、在宅医療や地域医療の人材育成に力を入れていきたいと思っております。

枝元先生がEMP講義を担当しました。

8月20日(木)に当講座の枝元真人先生によるEMP(英語)の講義が行われました。5年生10名を対象とした集中講義の2コマを担当し、海外で初診実習するための診察と症候学をメインに、ペアによるロールプレイ及びディスカッション、その他、留学体験だけでなく、その過程で学んだり、皆で教えあったりすることの大切さを学ぶことを目的とした講義内容でした。学生からは「留学に向けて、具体的にどのように学習していけば良いかがクリアになった」との感想をいただきました。この学びを留学先でフルに活かしてくれるものと心から期待しています！



▲枝元先生による講義の様子

総合診療専門研修プログラム説明会を開催しました。

8月8日(土)、新型コロナウイルスの感染防止対策を充分考慮した上で初期研修医を対象とした総合診療専門研修プログラムの説明会を開催しました。高い診断・治療能力を持つ総合診療専門医を養成するために、今回、総合診療に携わる宮崎県内各地の指導医が結集したALL MIYAZAKIの総合診療研修体制を整えました。研修先は都市部から地方・へき地まで展開、各医療機関や地域の強みを活かしながら理想的な研修体制を構築できます。このほか、専門医取得後のキャリア等についても説明しました。専攻医大募集中です！ぜひお気軽にお問い合わせください。



▲桐ヶ谷先生による説明の様子

「みやざき総合診療オンライン合同学習会」を開催しました。

8月28日(金)に今年度第2回のみやざき総合診療オンライン合同学習会「地域病院における新型コロナウイルスへの対応について」を開催しました。実際に7月以降陽性者を受け入れた都農町国民健康保険病院(宮崎大学医学部地域包括ケア・総合診療医学講座)の桐ヶ谷大淳先生、梶田一旭先生、枝元真人先生からのレクチャーでした。

新型コロナウイルスの基礎知識、地域病院での受け入れするための注意事項、感染症指定医療機関としての実際の対応、今後の役割など非常に濃い内容の学習会でした。

県内外から医療従事者や学校関係者、医学生など多くの参加をいただきましたが、また今後も様々な内容での学習会を計画していく予定です。



宮崎大学 医学部 地域医療・総合診療医学講座

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200 TEL:0985-85-9809 FAX:0985-85-9805

E-Mail : chiikiiry@med.miyazaki-u.ac.jp URL <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/community-medicine/>

